

春-2 お花見にでかけよう

1. 活動の目的

- ①季節の行事「お花見」について、日本人の考え方やさくらに対する思いを知る。
- ②万博記念公園へお花見に行く計画を立てる。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

- ☆お花見の写真 (ボランティア個人のお花見写真などもあるとよい。)
- ☆「全国お花見調査」結果
- ☆万博記念公園の園内マップ

3. 活動の手順

留：留意点 **参**：参考 **発**：発展的活動

活動1

お花見写真

・「さくら」といえば、春、入学、お祝いなど日本人が抱いているこの花ならではのイメージや思い入れがあることに気づいてもらう。また、学習者の国にも、日本のお花見のような季節の行事があるか聞いてみる。

参 日本の学校や会社は4月から始まる。雑誌の新連載やテレビの新番組などもこの時期で、さくらが咲く季節になると新しいことを始めたくなるムードがある。たとえば、NHKの語学講座のテキストが一番よく売れるのもこの時期だ。

・さくらの花は日本人にとっては特別な思い入れがあることに気づく。国花として定められているわけではないが、同等程度の愛され方をしている。そういうことから、身の回りにあるいろいろな「さくら」について改めて考えてみる。

全国お花見

調査結果

参 全国お花見調査 (weathernews 発表 2013 年)
日本人のお花見についての意識調査がまとめられている。

参

・女の子の名前にも多く採用され、2000年代に入ってから、常にトップテンにランキングされている。

・さくらソングといえば、最近のポップスでは毎年何曲かさくらをテーマにした歌が発売され人気が出ている。(福山雅治/コブクロ/森山直太郎など) 学習者に知っている曲があるか聞いてみるとよい。

・さくら餅など季節になると登場する食べ物もある。また、各食品メーカーも季節限定のさくらを使った商品を出す。さくら茶は結納の席など祝い事にもふるまわれる縁起のいい特別なお茶。

・日本の紙幣や硬貨にもさくらが印刷されている。クイズにしているのは千円札。100円コインの表の絵(1967年以降採用)もさくら。実物を見せるとよい。

・「サクラサク」「サクラチル」は合否を知らせる例え。

活動2

お花見の写真

- ・来日してからのお花見の経験を聞いてみる。お花見といっても、さくらの木の下で宴会をするばかりでなく、近所の桜並木を散歩したり、いつも通っている道に咲いているさくらを眺めるというのでもよい。

活動3

万博記念公園
園内マップ

- ・さくらは咲き始めると1週間ほどで見ごろを迎え、すぐに散ってしまう。テレビのニュース（天気のコナー）やネットサービスなどでも情報が得られることを紹介。
- ・万博記念公園を含め、吹田のお花見の名所を知る活動をする。有名ではなくても、ご近所の穴場スポットなどを教え合うといいだろう。
- ・話し合いが進む中でお花見に行きたいという気分が高まってくればなおよい。

留 ボランティアの実際のお花見風景の写真を見ながら活動すれば、より身近に感じられて、活発な話し合いが期待できる。

参 諸外国では公園などの公共の場所でアルコールを飲むことが禁止されている場合もあるので、大人数で外でお酒を飲む姿に驚く学習者がいるかもしれない。日本でも最近、マナーの問題がないとは言えないが、おおむねルールを守ってお花見を楽しんでいる。

- ・お花見に行く事前準備の活動をする。行く時期の目安、持ち物などを考える。・お花見に持っていくものを相談する際は食べ物では、お弁当（その中身にふさわしいもの）、嗜好品のくだものやおかしなども考える。写真を準備しておくイメージしやすい。また、学習者にもピクニックの際に欠かせないものがあれば、聞いてみるとよいだろう。レジャーシートやおしぼりなど実物を準備して見せるとよりわかりやすくなる。
- ・グループでのお花見では宴会芸などを披露して盛り上げたりすることもある。今回はみんなで楽しめるゲームなどを学習者に教わる活動をする。
例：各国版「じゃんけん」など
- ・万博公園の基本情報を見て、必要な情報を読み取る。

留 ここでは言葉の解説などは行わない。

発 日本語がよくできる学習者との活動では本物の園内マップを使って、そこから直接情報をとる活動も考えられる。